



『軍師官兵衛』

秀吉の天下取りの道筋をつけた官兵衛の知略

お客様紹介 社会福祉法人三陸福祉会さんりくの園 様

新前橋カルチャーエリア

「金井訓志展」開催中

名水探訪 武甲山伏流水

レッド、丘に行く。

金井訓志 画
1640x1220mm
石膏地/パネルに膠、アルキド絵具、金箔
2010

和's YAMATO (わづやまと) 夏号 (第21号) 2014

わづやまと

『和's YAMATO』の由来
ヤマトの漢字の「和」、Water & Airの頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。
ヤマトが発信するメッセージです。

株式会社ヤマトPR誌/和's YAMATO 2014 夏号/2014年6月発行
発行: 株式会社ヤマト(広報室) 群馬県前橋市古市町118
TEL: 027-290-1891 FAX: 027-290-1896
URL: www.yamato-se.co.jp/



名水探訪

環境省選定

名水百選

武甲山伏流水

◎アクセス
■鉄道・バスでお越しの場合
秩父鉄道「秩父駅」下車徒歩5分



秩父市の祭り「秩父夜祭」は日本三大曳山祭の一つとして有名です。武甲山伏流水は、地域の生活用水、神社の泉、清酒の製造などに利用されており、住民の暮らしや伝統文化にとって重要な役割を果たしてきました。伝統的な祭りを支える役目を果たしてきたともいえる伏流水です。また、秩父神社のお田植え祭では、その年の豊作を願って武甲山の伏流水を神前に供える行事が続けられています。地域住民の水質保全活動では、平成19年に発足したNPO活動として、自然観察会や荒川の再生プロジェクト、ゴミ拾い活動を実施しています。

 株式会社ヤマト

群馬県前橋市古市町118 〒371-0844
TEL: 027-290-1800(代) FAX: 027-290-1896
支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北
営業所/軽井沢、伊勢崎、茨城、太田、神奈川県央、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀
附属施設/大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター
ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/



武甲山伏流水
秩父神社

表紙の絵 金井訓志 画: 「レッド、丘に行く。」
金井訓志展を7月15日まで、ヤマトギャラリーで開催中です
(本文13ページに詳細を掲載)。金井先生の作品は、独特の線や構図、鮮やかな色彩が魅力です。200号の大作は圧倒される迫力です。



清州城（愛知県清須市）

天文15年 小寺（黒田）職隆の嫡男として姫路城で生まれる。
(1546) 幼名は萬吉。
永禄4年 御着城で小寺政職の近習として仕える。
(1561) 永禄5年 この頃元服し、官兵衛孝高と名乗る。
(1562) 永禄10年 志方城主・鷹橋伊定の娘を娶る。
(1567) 職隆に代わって姫路城代となる。
永禄11年 嫡男長政（幼名・松寿丸）が誕生。
(1568) 永禄12年 龍野城主赤松政秀の来襲を青山の合戦で撃退する。
(1569) 天正3年 主君政職に織田信長への帰属を説き、岐阜で
天正5年 信長に拝謁。名刀「庄切」を与えられる。
天正4年 英賀ノ浦（姫路市飾磨区）に上陸した毛利の大軍を
(1576) 迎え撃て大勝。信長より感謝状を贈られる。
天正5年 挿磨入りした羽柴秀吉のために姫路城を提供。
(1577) 天正6年 三木の別所氏ら挿磨の諸将が毛利に寝返る。
荒木村重が信長に謀反、村重説得のために有岡城
(伊丹市)に入るが、捕えられ土牢に幽閉される。
天正7年 有岡城が落城。自らの臣家に救出される。
(1579) 天正8年 城主別所長治が切腹し、三木城落城。小寺政職が
(1580) 御着城から逃亡したため姓を小寺から黒田に戻す。
天正10年 本能寺の変。
(1582) 天正11年 キリスト教に入信する。(洗礼名・シメオン)
(1583) 天正15年 九州征討の論功行賞で豊前6郡12万石の国守となる。
(1587) 天正17年 家督を長政に譲り「如水」と名乗る。
(1589) 天正18年 秀吉の小田原城攻めに参加。小田原城に乗り込み、
(1590) 北条氏政、氏直父子に請和を勧め、無血開城に導く。
文禄元年 朝鮮外征軍の軍監となって出兵する。
(1592) 文禄2年 朝鮮から許可なく帰国。秀吉の怒りを買い、
(1593) 頭を丸めて謝罪する。
慶長5年 関ヶ原の役。中津城にあって兵を募り、
(1600) 石垣原の戦いで勝利。
九州の大半を制圧するが、家康の命に従い停戦する。
慶長9年 京の伏見屋敷で病没。享年59。
(1604)

黒田官兵衛・関連年表



余呉湖 湖面がおだやかで鏡のようであることから、「鏡湖」ととも呼ばれてきた。また、「羽衣伝説」や「菊石姫伝説」の残る神秘の湖である。



賤ヶ岳の像 賤ヶ岳山は眺望の優れた場所で余呉湖畔はもちろん、合戦の跡（賤ヶ岳頂山）も一望することができる。



豊臣秀吉像（滋賀県長浜市）

長浜城天守閣跡に建てられている。秀吉が36歳の時、織田信長から浅井氏の旧領だった今浜に封ぜられた。秀吉は今浜を信長にちなんで「長浜」と改名したという。秀吉がはじめて城持ち大名になり、城主となったのは長浜城だった。

秀吉の策略が的中し天下を引き寄せる

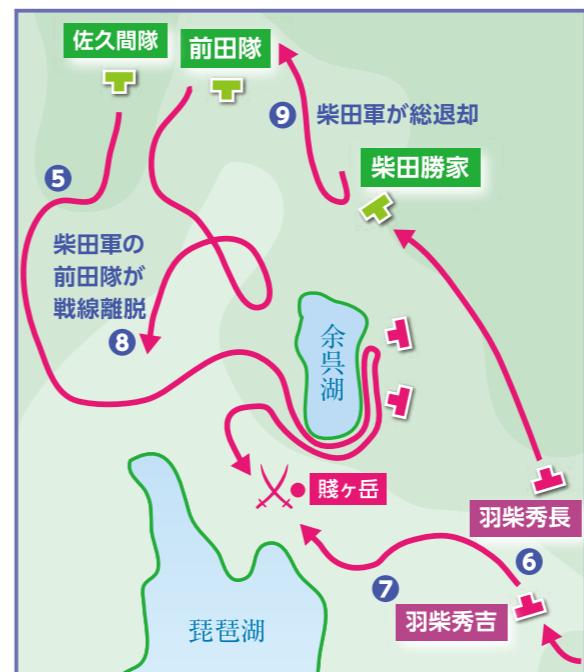
秀吉は、信長の天下統一事業を継承するのは自分だと考えていたはずだが、それを表に出すと主家の織田家への謀反とみなされる。織田家から秀吉は無理なく政権を得るようにするには、織田家が分裂して勢力が衰えることが不可欠となる。そのため秀吉は、遠回りをしながらも織田家が衰退する策を講じる。その策とは次のようなものだった。

信雄と信孝のどちらかが後継者になろうとすると対立が生じるので、本能寺の変で信長とともに敵に包囲され自害した長男（信忠）の嫡男・三法師（当時三歳）が後継者だと主張した。本能寺の変以前に、信長は信忠に家督を譲っており、信忠の嫡男が織田家の後継者になるのが筋で、叔父にあたる信雄と信孝に加え、織田家重臣による集団指導体制をとれば政権の運営ができると論理構築した。重臣四人による後継者指名では、柴田勝家が信孝を指名したが、残る三人は三法師を指名、秀吉の思惑どおりとなつた。

秀吉の天下取りの道筋をつけた官兵衛の知略

賤ヶ岳合戦図

- ⑤柴田軍の佐久間隊が秀吉の留守に進撃
高山隊、中川隊を壊滅させ、
賤ヶ岳で秀吉本隊と佐久間隊が激突
⑥羽柴秀吉が再び賤ヶ岳へ進軍



NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」

豊臣秀吉の天下統一を支えた軍師として、今年の大河ドラマの主人公となった黒田官兵衛。戦国時代一の軍師と呼ばれた男は、どのような方法で秀吉を天下人へと導いたのだろうか。今回は織田信長の天下統一事業に引き継いだ秀吉と官兵衛の奮戦や、調略、兵糧攻めといった「戦わずして勝つ」戦略を用いた官兵衛の戦法を取り上げた。

天下取りをするはずだった織田信長は、天正十（1582）年、明智光秀の謀反に遭い、本能寺で自害した。織田家では信長の後継者を決める必要になつたが、この時、羽柴秀吉の心に、信長の遺志を継いで天下取りをするのは自分だという思いが芽生えた。そのための道筋をつけたのも、黒田官兵衛だと考えられる。

秀吉が織田家に代わって政権を取るために、織田家を分裂させて、その勢力を殺がなくてはならない。しかも、織田家への謀反だととられてはいけないのだ。

明智光秀が討たれた十四日後、織田家の重臣が集まり、清州城で織田家の家臣が謀反を起こす。秀吉は、信長の天下統一事業を継承するのは自分だと考えていたはずだが、それを表に出すと主家の織田家への謀反とみなされる。

秀吉の姿が消えたのを見すました勝家は、全力で攻撃を開始した。ところが、秀吉はその情報をつかむと、五十二キロの道のりをわずか五時間で駆けめどり、柴田軍を破る。勝家は自刃し、信孝も切腹。秀吉は織田家を抑えて、ついに政権を握った。

秀吉の姿が消えたのを見すました勝家は、全力で攻撃を開始した。ところが、秀吉はその情報をつかむと、五十二キロの道のりをわずか五時間で駆けめどり、柴田軍を破る。勝家は自刃し、信孝も切腹。秀吉は織田家を抑えて、ついに政権を握った。

そこで秀吉は、信長の直轄領だった尾張と美濃を、信孝とその兄・信雄に分割して与えるよう画策した。信雄は柴田勝家と結び付いた信孝に対抗するため秀吉に肩入れするようになり、織田家は事実上分裂する。

七月に行われた信長の葬儀を秀吉が取り仕切つたことで、勝家・信孝側が反感をつのらせ、翌年、ついに戦端を開いて両者は激突する。柴田勝家と秀吉は岐阜城で織田信孝が兵を擧げたため、秀吉は兵を分けて岐阜城に向かう。

清州会議で織田家の後見の地位をつかむ

後継者と領地の配分を決める話し合いを行つた。信長の嫡男・信忠は信長とともに本能寺で自害していただため、秀吉は信忠の遺子でわずか三歳の三法師を後継者として立て、重臣がそれを支えることを提唱した。だが、重臣の一人、柴田勝家は信長の三男・信孝を推し、秀吉と対立する。



うだつの町並みができるまで

天文2年(1533)、阿波の戦国大名・三好長慶は、脇町の市街地の北方の丘に脇城を築き、西の岩倉城とともに土佐の長宗我部氏の侵攻に備えたが、天正10年(1582)長宗我部元親の阿波侵攻により落城した。天正12年(1585)の豊臣秀吉の四国平定で、同年藩主となった蜂須賀家政は脇城を修築して、稻田植元に守らせたが、大坂の陣のあと、稻田氏は淡路島の洲本に移り、元和元年(1615)の一国一城令で廃城となった。蜂須賀家政は、吉野川の恩恵による肥沃な土地は藍の栽培に適していると、前領地の播磨から播磨藍を移植し栽培を奨励した。そのため、脇町は阿波藍の集散地となった。江戸時代には、木綿の生産が増え、一般庶民が藍染め木綿の着物を着るようになると、藍の需要は急拡大し、阿波藍は阿波を代表する特産物になる。脇町は藍の取引をする商業の町として栄え、多くの藍商が集まり、現在のような町筋が出来上がった。

卯建(うだつ)

卯建は本来隣家との防火壁であるが、徐々に家格を示す装飾的意匠が強調された。裕福な商家はうだつをあげた立派な家を建てた。「うだつがあがる」「うだつがあがらない」の語源ともいわれている。



江戸時代の町並みを描いた陶板。明治以降は繭の仲買および生糸の生産地として栄えた。



卯建の町並み
(徳島県美馬市脇町)



藍蔵や倉庫として使われていた土蔵もあった。



蜂須賀家政像 (徳島県徳島市徳島町)
徳島中央公園にある蜂須賀家政像。



アクセス: 徳島市内から徳島自動車道で約40分、脇町IC下車。

九州平定に際しても、官兵衛はこの兵法を活用した。九州は島津・大友・龍造寺が支配していたが、島津の勢力が強くなり、他の大名は島津に征服されそうになっていた。そこで官兵衛が彼らに働きかけて秀吉に降伏するよう勧めたため、天正十四年に秀吉が二十万の兵を率いて九州入りした時、大友らはほとんど抵抗することなく城を明け渡した。これにより島津は薩摩への退却を余儀なくされ、秀吉に降伏することになった。秀吉軍は圧倒的な兵力をもしながら、戦闘を回避して九州を支配下に収めることができた。

官兵衛は知略によつて、秀吉の天下統一への道筋をつけることに大きく貢献したのである。



鳴門海峡の渦潮

(徳島県鳴門市)

羽柴秀長隊、羽柴秀次隊は淡路島から鳴門海峡を渡って四国に入った。

太平洋と瀬戸内海から流れ込む潮流が、鳴門海峡でぶつかり合って「渦潮」が発生する。



長宗我部元親像

信長の天下統一の夢を引き継いだ秀吉は中国地方を平定し、九州と四国の平定に乗り出す。官兵衛はできるかぎり武力を用いず、知略で相手を降伏させた。正十三年、官兵衛らが長宗我部元親が支配する喜岡城を落とし、由良山城と池田城に攻めよせると、城兵は抵抗することなく退却し、植田城に逃げ込んだ。これは罠ではないか——敵の動きを怪しこそ官兵衛は、地形などを調べて、長宗我部の策略を見破った。長宗我部は山間部にある植田城に官兵衛軍を誘い込み、一網打尽にしようとしたのだ。しかし、官兵衛の鋭い洞察力で、敵の罠から逃れることができた。

その後、秀吉軍は長宗我部の最大の防御拠点である岩倉城を包囲したが、天然の要害である岩倉城は簡単には落とせない。そこで官兵衛は、城壁より高い櫓を組み、高い位置から城内に鉄砲で一日三回、攻撃を行い、鬨の声を上げて敵を威嚇した。籠城している城兵たちは精神的に追い込まれ、わずか十九日で降伏する。

孫子の「戦わずして人の兵を屈するは善の善なるものなり」を理想とする官兵衛の戦術が見事、功を奏したのだった。



秋月城の長屋門

秋月城の裏手門として使用されていたもの。移築されずに残る唯一の建造物として価値が高い。



秋月城

瓦坂(左側)と石垣

瓦坂は大手門に通じる橋で、瓦を縦に並べて土の流れを防いでいる。



小倉城

官兵衛と秀吉の小倉城との関わり

天正14年(1586)、秀吉の九州平定に参加した官兵衛は、毛利・吉川・小早川軍とともに豊前の小倉城を攻めた。同15年(1587)、九州を平定した秀吉は、大坂への帰路小倉城に立ち寄り、それから赤間が関に渡った。その時、官兵衛に対して、豊前6郡を与える書状を渡したとされる。また、慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いの際に西軍・石田三成方に属した小倉城主・毛利勝信を官兵衛が攻め、落城させたといわれる。



小倉城 [上] 小倉城庭園の縁側から遠望する小倉城。

[右] 江戸時代の武家の書院を再現した室内。小倉城庭園は、日本の伝統文化を紹介する展示室などがある。

小倉城庭園

小倉城庭園は典型的な大名の庭園だった。江戸時代初期から幕末までの小倉城城主・小笠原氏の別邸跡を復元した。



*小倉城は、耐震補強工事のため平成26年9月30日(火)まで休館予定です。

小倉城庭園は通常通り見学できます。

黒田官兵衛の主な合戦年表

永禄5年【17歳】	近在の土豪を討伐(初陣)
(1562)	
永禄12年【24歳】	青山の戦い
(1569)	
天正4年【31歳】	英賀の戦い
(1576)	戦後、播磨の諸将に織田方への帰順を説得
天正5年【32歳】	佐用城・上月城攻め
(1577)	
天正6年【33歳】	三木城攻め
(1578)	宇喜田直家を調略
	荒木村重の説得のため有岡城へ赴き、幽閉される
天正9年【36歳】	鳥取城攻め
(1581)	
天正10年【37歳】	中国大返し、山崎の戦い
(1582)	
天正11年【38歳】	賤ヶ岳の戦い
(1583)	
天正13年【40歳】	四国攻め
(1585)	
天正14年【41歳】	九州攻め
(1586)	
天正15年【42歳】	日向攻略
(1587)	
天正18年【45歳】	小田原攻め
(1590)	



秋月郷土館

秋月の歴史資料と美術品を公開している。



秋月城(福岡県朝倉市)は鎌倉時代初期の建仁三年(一二〇三)に秋月氏によって築城され、戦国時代に秋月氏十二代秀吉の九州征伐によって降伏・開城した。秀吉は豊前・筑前・筑後の広範囲を勢力下に置いた。天正十五年(一五八七)に種実は豊前・筑前・筑後の三男・黒田長興が城主となり城を大幅に改修し、その遺構が現存している。



おのころ島神社



春の例大祭

おのころ島神社は、伊弉諾命(イザナギのミコト)・伊弉冉命(イザナミのミコト)を主祭神として菊理媛命(キクリヒメのミコト)を合祀する。当社が鎮座する丘が両神による国産み・神産みの舞台となった自凝島であると伝えられている。おのころ島神社の春の例大祭では、だんじり唄や山車が出て賑わいをみせる。



大鳥居

高さ21.7メートルの大鳥居は平安神宮及び嚴島神社と並び「日本三大鳥居」の一つに数えられる。



淡路人形座 淡路人形淨瑠璃は江戸時代には徳島藩主の蜂須賀氏の保護もあって大いに繁栄した。文楽の始祖、植村文楽軒も淡路出身で、19世紀初頭に大坂高津で開いた芝居小屋は、明治5年(1872)、三代目文楽軒のときに「文楽座」と名乗った。これが上方の人形淨瑠璃・文楽の始まりで、人形淨瑠璃といえば文楽を指すというほどの人気を博し、他の人形淨瑠璃は衰退した。



伊弉諾神宮の拝殿

淡路市に鎮座し、伊弉諾大神、伊弉冉大神による日本列島創世で、最初に生んだのが淡路島という伝説で有名な日本最古の神社。境内地約4万3000m²、淡路國一宮、旧官幣大社。



夫婦の大楠

伊弉諾神宮の境内には、兵庫県指定天然記念物「夫婦の大楠」がある。



あわじ花さじきのポピー

淡路島北部の丘陵地域の頂上部に位置し、大阪湾に面したならかな高原には季節の花々が美しく咲き誇る。明石海峡・大阪湾を背景に、約16ヘクタール(甲子園球場の4倍)の広大な花のパノラマを楽しめる。



野島断層保存館のエントランスにある国道の倒壊再現模型。平成7年(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、活断層の野島断層が動き、被害が拡大した。



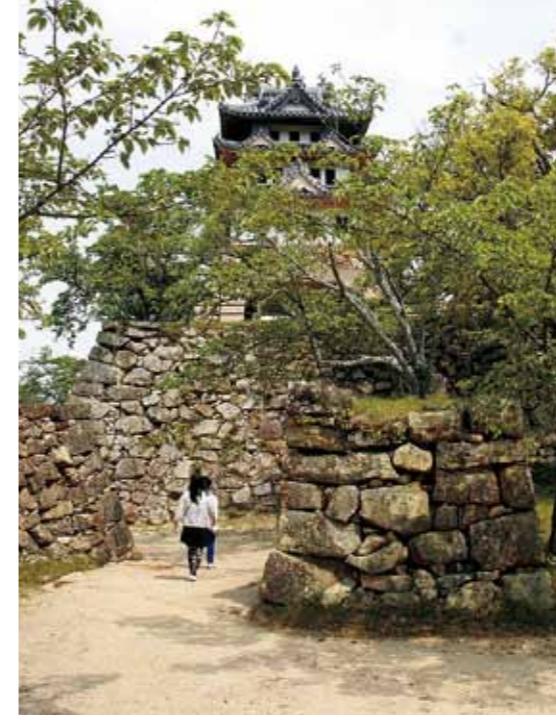
野島断層
保存館

野島断層の活動による道路の断裂を保存・展示してある。



淡路島と琵琶湖の形は、反転してみると偶然にもそっくりです。両者とも神秘性を持っており、淡路島には日本の国生み伝説があり、琵琶湖の竹生島は神仏一体の聖地で「神の棲む島」と呼ばれています。

洲本城



模擬天守台



本丸虎口



本丸大石段

搦手口



武者走り台

洲本城跡(淡路島)は市街の南側に位置する三熊山山頂にあり、国の史跡名勝にも指定されている。天正九年(一五八二)、当時の城主であった安宅清康は織田信長に離反して毛利氏に付いたた伐軍に攻められ開城・降伏する。討伐軍には黒田官兵衛が加わっており、官兵衛が安宅氏を討ち取ったとされる。その時使用した刀が現在する「安宅切り」(国指定重要文化財・福岡市美術館所蔵)という刀といわれている。殺生を避け、極力相手を説得して城を開かせ戦を終わらせた官兵衛が、生涯に二回自らの手で人を殺めた内の一人が安宅氏ともいわれている。

洲本城跡(淡路島)は市街の南側に位置する三熊山山頂にあり、国の史跡名勝にも指定されている。天正九年(一五八二)、当時の城主であった安宅清康は

官兵衛の淡路平定と洲本城



宝厳寺唐門 (国宝) 慶長八年(1603)に秀吉の子・秀頼によって京都から移築された門。豪華絢爛な桃山様式特有の美しさを持つ建造物で、内部は精緻な牡丹の彫刻が施されている。建立当初は赤、黄、緑など極彩色に彩られていた。



舟廊下の入口 渡り廊下にしては重厚な造り。



宝厳寺渡廊 (重要文化財) 宝厳寺観音堂と都久夫須麻神社本殿を結ぶ渡り廊下。秀吉の御座船「日本丸」の部材を使用して作られたという伝承から、別名「舟廊下」と呼ばれている。



弁財天堂外観 宝厳寺の御本尊は弁財天で、竹生島弁財天は日本三大弁天の一つ。日本三大弁天は竹生島、宮島、江ノ島。



黒龍堂 黒龍は八大龍王の一つ。龍王は大海に棲み雨を降らす神様。

竹生島神社 (国宝) つくぶすま 正式名称は都久夫須麻神社。創建は雄略天皇3年。延喜式では小社列格の古社。湖中に浮かぶ島は古くから信仰の聖なる島として女神を祭ってきた。社殿は秀吉が寄進した伏見桃山城の御殿を移築したもの。



鳥居 島全体が神域のため、海に面して鳥居が建つ。ここでは土器(かわらけ)に願い事を書き、鳥居に向かってかわらけを投げて鳥居をくぐれば願いごとがかなうといわれている。



湖上からの眺め。神社仏閣が厳かに佇む。



神が棲む島 琵琶湖の竹生島

竹生島の全景。島全体がパワースポットともいわれ、神秘性を保っている。

琵琶湖は日本一の広さを持つ湖で、戦国時代に築城された城や城址などの歴史遺産が多数ある。物資の輸送にも琵琶湖は活用され、「近江を制する者は天下を制す」と言われた。琵琶湖の北部に浮かぶ竹生島は、古来から信仰の対象で、神仏一体の聖地であったことから「神の棲む島」と呼ばれている。

豊臣秀吉は竹生島神社への崇敬が篤く、伏見桃山城の御殿を竹生島神社の本殿にするよう寄進した。秀吉が初めて城主になったのは長浜だった。慶長七年(一六〇二)には秀吉の遺命によつて子の秀頼が豊國廟から、桃山時代の代表的な遺構である宝厳寺唐門(国宝)などを竹生島に移築したため、重要な文化財として今日まで残っている。

お客様の声



山田施設長(左)と西村課長

さんりくの園様は、従来の施設が東日本大震災の大津波で被災し施設が全壊したため、現在地の台に移転して新築しました。新築にあたり、省エネ設備や、地域の防災拠点の役割を持たせるための設備などを取り入れ、空調では(株)ヤマトの大温度差蓄熱空調システムを導入しています。

さんりくの園の西村課長は、エネルギーコストの削減によりわけ空調の電気、ガス、油の削減は施設経営にとって大きな比重を占めているとお指摘されています。

施設のLCC低減と環境経営に貢献する!

ヤマト大温度差蓄熱空調システム

空調電気料金の大幅削減と効果保証

蓄熱式空調システムは、施設の地下に水槽を設置し、約210m³の水を貯水します。その水をクリーンで割安な夜間電力を使って温めたり冷やしたりして、施設の暖房や冷房に利用します。

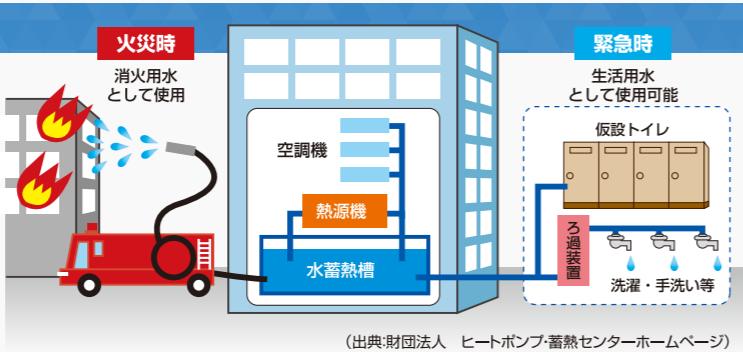
株式会社ヤマトでは、蓄熱式空調システムで多数の実績があり、さんりくの園様でも採用されています。

ヤマト大温度差蓄熱空調システムの特長と導入効果

1 災害時には蓄熱槽の水を活用

蓄熱槽には約210トンの水が蓄えられており、約690人分の生活用水を供給できます。浄化装置でろ過することで、約3万5千人分の飲料水として給水することができます。また火災時には消防用水として利用でき、地域の防災拠点としての役割を担います。

■建築基準法施行令の改正(H24)により、蓄熱槽および貯湯タンクは貯水槽として容積率緩和の対策となりました。



(出典:財団法人ヒートポンプ蓄熱センターホームページ)

2 エネルギー消費量やCO₂排出量を大幅に削減

空調に使用するエネルギーを電気とし、蓄熱槽を活用することで、空調負荷の変動に影響されず効率の良い運転が可能となり、エネルギー消費量やCO₂排出量を大幅に削減することができます。

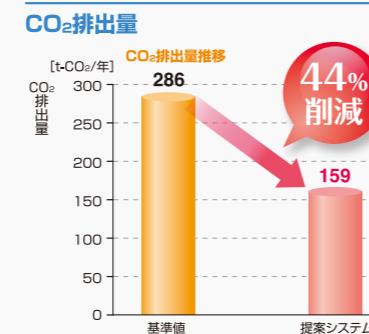
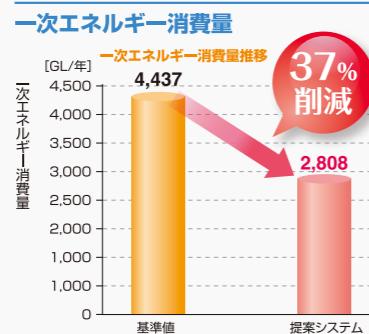
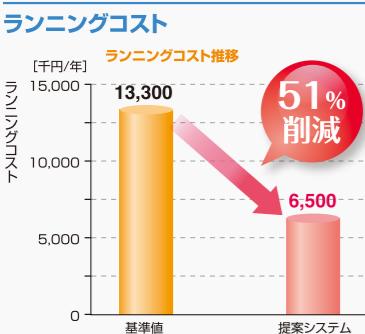
3 電気料金を大幅に低減、空調熱源の電気料金をヤマトが保証

空調には、割安な夜間電力を使い、夜間に蓄熱槽に熱を蓄えて冷暖房をしますので、省エネとピークシフト(電力の夜間移行)を同時に実現することが可能となり、電気料金(空調熱源のエネルギー料金)が大幅に低減できます。

空調熱源の電気料金は事前に設定し、その金額を上回った場合はヤマトがお支払いします。

ヤマトが、蓄熱空調システムの効果を保証します。

4 大温度差蓄熱システム導入効果試算



5 快適で安全な床暖房システムを導入

高齢の方々に配慮し、床面からの放射熱で足元から暖める床暖房システムが導入されています。温風が直接体にあたらないため、快適な室内環境が実現できます。



利用者の皆様に快適な環境を提供する床暖房システム

施設屋上に設置された空調機
施設の地下には蓄熱槽が設置され
210m³の水が貯水されています



『金井訓志展』開催中

7月15日まで
本社ギャラリーで

2014 5.15 thu - 7.15 tue

入場無料

会場：株式会社ヤマト
本社1階 ヤマトギャラリーホール

時間：9:00～17:00 休館日：土・日・祝日・5月24日(土)・25日(日)・7月12日(土)・13日(日)は開館

平成26年5月15日(木)から7月15日(火)9:00～17:00まで画家の「金井訓志展」を(株)ヤマト本社1階ギャラリーホールにて開催中です。開催中の土・日は基本的に休館となります。但し、5月24日(土)・25日(日)・7月12日(土)・13日(日)は開館します。5月24日(土)午後2時より金井先生と美術評論家の武田厚先生による、ギャラリートークを行いました。

金井先生は群馬県前橋市在住で、全国各地はもとより、海外でも精力的に個展を開催されており、幅広く活躍されています。画風はユーモラスかつモダンで、かつてのポップ・アートを想起させる独創的な世界観のある絵画です。今回の展示では100～200号クラスの作品が数多く出品されます。ご家族・ご友人をお誘い合わせのうえ、ご来場ください。



花籠(CONGRATULATION AM!) 2013

金井 訓志 (かない さとし)

1951 群馬県勢多郡敷島村(現渋川市)生まれ
1980～独立展(独立賞、第60回記念賞他)
1991 安井賞展(以後'92、「93、「94、「95、「97セゾン美術館他)
第15回上毛芸術奨励賞受賞(上毛新聞)
1992 現代美術選抜展(文化庁／以後'95)
1993 加藤アキラ・金井訓志展(高崎市美術館)
1995 平成6年度文化庁買上優秀美術作品に選定
2000 日本テレビ番組「美の世界<人のかたち・金井訓志>」
第22回日本秀作美術展(日本橋高島屋他／以後'01)
2002 文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアに留学
2007 文化庁在外研修員制度40周年記念展(国立新美術館)
2009 群馬の美術1941-2009(群馬県立近代美術館)
2011 「3人3様・独立三人展」(富岡市立妙義ふるさと美術館)
2012 公募団体ベストセレクション展(東京都美術館)
2013 アーツ前橋開館記念展(アーツ前橋)

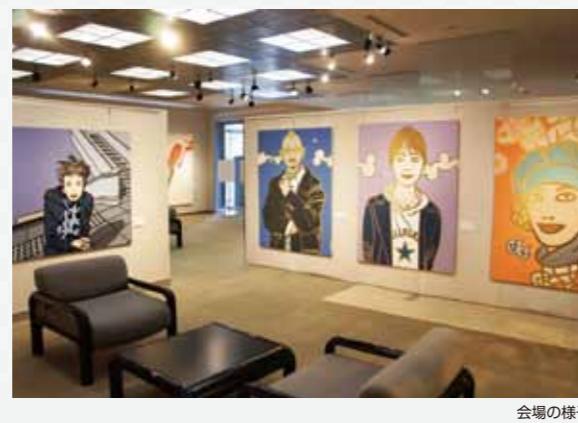
- 個展：ギャラリー椿(京橋)他 ●グループ展：独立展 他
- 現在：独立美術協会会員、日本美術家連盟会員



ギャラリートークには多勢のお客様が参加しました。



金井先生



会場の様子



新前橋地区カルチャーエリア EVENT INFORMATION

新前橋駅周辺の
文化・イベント情報
2014年6月



① ノイエス朝日 様

会場：ノイエス朝日(群馬県前橋市元総社町67)

群馬工芸美術会五月展

会期：2014年 5月31日(土)～6月 8日(日)
10:00～17:30

しらかわともこ展

会期：2014年 6月10日(火)～6月 15日(日)
10:00～17:00

二人展 井上公雄 山田展也

会期：2014年 6月17日(火)～6月 25日(水)
10:00～17:30

木村明展

会期：2014年 6月28日(土)～7月 6日(日)

② 上毛新聞社 様

上毛芸術奨励賞・芸術文化賞受賞者展覧会

夢の軌跡 群馬の作家59人展

会期：2014年 6月28日(土)～7月 8日(火)

会場：高崎シティギャラリー(群馬県高崎市高松町35-1)



③ NHK前橋放送局 様

大河ドラマ『軍師官兵衛』 全国巡回展

会期：2014年 6月 3日(火)～8日(日)
※3日～6日：午前 9時30分～午後 6時

7日・8日：午前10時～午後 5時

会場：NHK前橋放送局 1階ギャラリー
(群馬県前橋市元総社町189) 入場無料

大河ドラマ『軍師官兵衛』の魅力とドラマが描く時代を、写真や映像で紹介。ドラマに登場する衣装や小道具、出演者のサインの他、ドラマの見どころや時代背景を解説したパネルなどを展示します。(展示内容は変更になる場合があります)

ふれあい広場2014～放送局で遊ぼう～

会期：2014年 6月 7日(土)・8日(日) 開館時間：午前10時～午後 5時

会場：NHK前橋放送局(群馬県前橋市元総社町189) 入場無料

